

おたく天国Google、食堂のお味は・・・ ～シリコンバレーで見てきたこと～

シリコンバレーは曇り空

温暖な気候と、抜けるような青空のちょっと田舎町、それがシリコンバレーのイメージでしたが、そのイメージは、到着と同時に崩れました。

10月15日から、[\(社\)日本コンピュータシステム販売店協会](#)主催のシリコンバレー視察ツアーに参加しました。

Google は「ゴーゴ」

グーグルでは日本人社員の方から説明を受けました。

内容はおおかた知っていることでしたが、やはり現場の人からの説明は貴重でした。

ここで皆さんに特ダネを2つ。

Google は、発音的には「ゴーゴ」に聞こえます。(すみません、大したネタではないですね ; ;)

もう1つは、噂のGoogle フォンですが、日本人社員の皆さん、噂さえ聞かないとおっしゃっていました。

Google 日本人社員の皆さんは嘘をつくような方ではありませんでしたので、もし開発しているとしたら、人里離れた秘密の地下基地でやっているに違いありません。(*1)

いよいよランチ

さて、ミーティングが終わってランチの時間です。

ランチは、Google のメインダイニングに行きました。

もうちょっと高級なものを想像していましたが、とても大きなスーパーのフードコートという感じです。

ビュッフェ形式で好きなものを好きなだけ取って食べます。

Google は社員だけでなく、訪問客も無料で食事ができます。

インド人エンジニアが多くいて、インド料理のところ前列を作っていたのが印象的でした。

お味は・・・おいしかったです。が、列に並ぶのが嫌だったため、人気のない料理を取ったので、期待ほどではなかったです。

ただ、これは期待が大きすぎたからで、普通においしい食事だと思います。

おたくはプログラム作りに熱中して、食事を取り忘れてたり、ファストフードですませることがよくあります。

そんなおたくプログラマーには、タダで食事ができる(*2)Google の食堂が一番うれしいものでしょう。

天才を集める会社

いい意味で、おたくが楽しんでいる会社だなあと感じました。

優秀な人間をたくさん集めて、好きなようにさせておけば、そのうち、1つか2つすごいものが出来てくるに違いない、という考え方がこの会社を作っているんだと思います。

いわゆるアメリカンな、楽天的な発想です。

ツアーではGoogleのほかに、Adobe、Apple、HP、Intel など訪問しました。

どの会社も社員を大切にしています。そして、「Google ほどは、やってない」と各社口を揃えていました。

本当は、こういう社員を大切にすることって、日本の会社が一番得意だったことではないでしょうか？

食事を無料で出してくれたり、子供がいれば面倒を見てあげたり。

古き良き日本の会社を目指す方針は間違っていないと思いました。

(*1) [サンは地下サーバー室を計画しています。](#)

(*2) [日本でこの形は無理です。](#) 改定してほしいです。